

デジタル時代の著作権協議会(CCD)権利問題研究会 平成21年度 第3回研究会

開催日時:平成21年11月20日(金)

午前10時～午後0時

開催場所:社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会 会議室

・議事次第

(1)

一般社団法人著作権情報集中処理機構(CDC)で採用されている
基幹技術について

〈発表者〉

NMRC(ネットワーク音楽著作権連絡協議会)世話人

社団法人音楽電子事業協会 著作権・ソフト委員会 委員長

権利問題研究会副主査

戸叶 司武郎氏

(2) 「第8回権利問題並びに保護技術等に関するアンケート」集計結果につ
いて

(3) その他

以上

・議事概要

1. 議事(1)について

- ・NMRC 世話人の戸叶氏より、CDCの設立経緯が説明されたが、その中ではインターネットや携帯電話向けの音楽配信が活発に行われるようになったが、その反面配信事業者及び著作権管理事業者の双方の事務処理が膨大になり、追いつかなくなっている現状等の紹介が行われた。
- ・また、CDCで採用されている「Fluzo」システムの説明が行われた。
- ・同システムを採用するメリットとして、①利用楽曲の権利情報、管理事業者コード付与作業の効率化②.管理事業者への報告業務にかかる作業負担の軽減・報告漏れの回避③未許諾配信を防ぐ等のリスクヘッジを図れることが、紹介された。

2. 議事（2）について

- ・本年10月より11月にかけて、CCD権利問題研究会会員団体を対象として、実施した「第8回権利問題並びに保護技術等に関するアンケート」の集計結果を、事務局より説明した。
 - ▶ なお、アンケートを29団体へ送付した結果、15団体より回答が行われたことが合わせて説明された。
 - ◇ （事務局追記）研究会終了後、追加で1団体より回答があったため、計16団体より回答が行われた。

3. 議事（3）について

- ・次回研究会を、2010年1月15日（金）あるいは1月22日（金）のどちらかで開催する方向で、事務局にて調整を行うこととなる。
- ・なお、次回研究会議題は、現在調整中であることが説明された。

以上